

Yoroi ウォレット移行チェックリスト — 何年も触っていない ADA を、新しいウォレットへ

SIPO・2026 年 9 月 2 日版 | 詳しい解説: sipo.tokyo/secondfi-yoroi-migration-manual/ | 順番どおりに進める。飛ばさない。急がない。

0 始める前に（これが無いと先へ進めません）

- ☐ Yoroi の 15 語のリカバリーフレーズ（紙）がある — 無ければ開けず、移行も請求もできない（誰にも復旧できない）
- ☐ 自分の PC（Chrome / Brave / Firefox）を使う。共用 PC・人の PC は使わない
- ☐ 自分のアドレスが分かるか — 取引所の出入履歴（Yoroi へ送った addr1…）や古い Yoroi の画面。分かる人は **3-B を先に**
- ☐ 手数料用に少しの ADA（1 回の送金に 1 ADA 未満）。トークンだけで ADA がほぼ無い場合は、先に解説記事の「残高不足」の項を読む

2 古い 15 語を Lace に復元する（何にも署名しない）

- ☐ Lace で「Restore wallet」→ 15 語を自分で入力（誰にも見せない・撮らない・共用 PC を使わない）
- ☐ 残高が表示されることを確認。この時点で送金・委任・何かの承認は一切しない
- ☐ 残高がゼロなら → 「想定外の場合」の C へ

4 新しいウォレットへ送る（両方 clear の人だけ）

- ☐ ステーキングしていた人: Staking の画面で **De-register**（2 ADA が戻る・未受取の報酬も一緒に回収される）
- ☐ まず少額を新アドレスへ送り、新ウォレットに届いたことを確認
- ☐ 残りを全額送る。署名前に、送金先が自分の新アドレスと手数料だけであることを確認（想定外の宛先があれば署名しない）
- ☐ アドレスは全桁を照合。取引所の入金アドレスは絶対に使わない

6 終わったら

- ☐ 古いウォレットは消さない・使わない（そのまま残す）。15 語の紙も捨てない
- ☐ 新しい 24 語の紙を安全な場所へ。できれば別の場所にもう 1 部
- ☐ まとまった額の人、後日 Ledger / Trezor（ハードウェアウォレット）への移し替えを検討

1 新しいウォレットを作る（Lace・新規作成）

- ☐ ブラウザに lace.io を自分で入力して開き、拡張機能を入れる（検索広告・リンク経由は不可）
- ☐ 「Import existing wallet」ではなく新規作成を選ぶ
- ☐ 表示された新しい 24 語を紙に手書き。スマホ入力・スクショ・メモアプリ・クラウド保存は禁止
- ☐ 新しい受取アドレスをコピーして控える（使うときは、先頭と末尾だけでなく全桁を照合する — 公式も 8/26・9/2 に明記。コピー内容を書き換えるマルウェアがある）

3 確認を 2 つ（両方とも通ってから次へ）

- ☐ **3-A Lace のセキュリティチェック**を、復元したウォレットで実行 → 「異常は検出されませんでした」
- ☐ **3-B 公式ウォレットチェッカー** checker.secondfi.io に、復元した Lace で見た addr1… または stake1… を貼る → 「not in our current list」
 - どちらか一方でも引っかかったら、ここで止める。署名しない。ケース B（公式の移行ツール・SecondFi アプリ内）へ。この日は何もしない

5 新しいウォレットで委任する（これで元の状態に戻る）

- ☐ ステークプールに委任（Staking Center で検索） — 例: SIPO / SIPO2 / SIPO3
- ☐ DRep に委任（Governance の画面） — 例: DRep 「SIPO」
`drep1yffld2866p00cyg3ejjdwetvazgah7jjgk0s9m7m5ytmmdq33v3zh`
 - 最初の報酬が届くまで 15~20 日が目安。委任していない間は報酬が出ない

想定外の場合

- C 残高がゼロ（抜かれていた）**: 復元や送金はせず、support.secondfi.io（メール + 6 桁コード）から請求（claim）を出す。アドレス・残高を記録し、15 語を保管。返還は 9 月に見込まれる公式ポータルを待つ。回復ツールはまだ稼働していない（9/1 公式・9 月中・公式アプリの外で動く）—— 「回復を手伝います」はその時点で詐欺
- 凍結された NIGHT が古いウォレットに届いた**: ADA を全部移した後だと NIGHT だけ動かせない（公式 FAQ が 9/2 に明記・対処法は未提示）。ADA を送り戻す前に、解説記事の「NIGHT」の項を読む
- SecondFi アプリがスマホにある / PC に Chrome ウェブストア版の拡張機能がある**: 公式の移行ツール（4 ステップ）でもよい。Edge アドオンストア版（10.3.0）には移行ツールが入っていない
- Ledger / Trezor で Yoroi を使っていた**: 影響対象外。Lace に機器を接続して開き直すだけ（資産は動かさない）

絶対にしないこと

- リカバリーフレーズを人に見せない・渡さない・撮らない。サポートを名乗る相手が聞いてきたら詐欺。例外は 9 月公開予定の公式回復ツールのみ（公式チャネルから自分で迎ったポータル内だけ。人・DM・第三者サイトには入れない）
- チェッカーで該当したウォレットに ADA を入金しない（抜かれうる）
- 「今日中に移さないと失う」と急かす連絡は、その時点で偽物（期限は公表されていない）
- 誰かが送ってきた「移行ツール」「回復サイト」のリンクを開かない。正規の移行は公式アプリと Chrome ウェブストア版拡張機能の中だけ。「検証・同期・アンロック」という手続きは存在しない
- 誰にも手数料を払わない。どのアドレスにも「返還のため」の送金をしない
- 公式の窓口は @secondfiapp・@secondfi.jp・support.secondfi.io だけ。公式は DM を先に送らない・電話やビデオ通話をしない・別チャネルへ誘導しない（9/1 公式）

確認・手続きに使う URL（この一覧にあるものだけを、自分で入力して開く）

- 解説記事（SIPO）<https://sipo.tokyo/secondfi-yoroi-migration-manual/>
- 公式ウォレットチェッカー（STEP 3-B）<https://checker.secondfi.io/>
- 公式サポート・請求（claim）（C の人）<https://support.secondfi.io/>
- 公式 移行ツール: URL は無い — 公式 SecondFi アプリ（App Store / Google Play）か Chrome ウェブストア版の拡張機能を更新すると出る。「移行ツールのサイト」は全て偽物。ストア内にも偽アプリあり — 開発者名 EMURGO Co., Ltd. を確認。案内ページ <https://secondfi.io/download>
- 公式 移行 FAQ <https://kb.secondfi.io/en/article/secondfiyoroi-wallet-migration-faq-1nws9lo/>
- 公式 Incident FAQ <https://kb.secondfi.io/en/article/incident-faq-omrng2/>
- 公式 X: [@secondfiapp](https://twitter.com/@secondfiapp) / [@secondfi.jp](https://twitter.com/@secondfi.jp)（DM は来ない）
- Lace 公式（拡張機能はここから）<https://www.lace.io/>
- Lace 移行ガイド（日本語）<https://www.lace.io/blog/moving-funds-japanese>
- 残高・履歴を読むだけ（フレーズ不要）<https://cardanoscan.io/>